



# 蘭越町簡易水道事業 経営戦略 概要版

計画期間

2026(令和8)年度 ~ 2035(令和17)年度

発行

蘭越町建設課

2026年3月

## 📌 事業の概要

事業創設認可 1965 (昭和40) 年 5月18日

供用開始 1966 (昭和41) 年 6月1日

給水区域 5地区 (蘭越・目名・昆布・御成・三和)

給水人口 4,063人

地方公営企業法 2023 (令和5) 年4月1日より一部適用

## ⚠️ 主な経営課題

### 👤 1. 人口減少による減収

給水人口は減少傾向にあり、料金収入が減少しています。今後も人口減少が続くと予測され、経営への影響が懸念されます。

### 💰 2. 財源不足と赤字構造

給水原価が高く、料金収入だけではコストを賄えません。一般会計からの多額の繰入金 (赤字補填) に依存しています。

## 📊 主要経営指標の分析

※比較対象：道内類似団体平均 (管内平均)

指標項目	蘭越町 (実績)	管内平均・目標	評価
経常収支比率 <small>総収益 ÷ 総費用</small>	77.99%	105.04% 目標: 100%以上	赤字経営 低い▼
料金回収率 <small>料金収入 ÷ 総費用</small>	60.26%	77.92% 目標: 100%以上	原価割れ 低い▼
給水原価 <small>水1m<sup>3</sup>を作るコスト</small>	373.6円	291.9円 管内平均	高コスト 高い▼
有収率 <small>料金になる水の割合</small>	59.35%	72.24% 管内平均	ロス多 低い▼

## ◎ 経営の基本方針

公営企業の基本原則である「独立採算」を目指しながら、以下の3点を重点として経営を推進します。

1

### 強靱な簡易水道施設の確保

予防保全型の対策から施設の健全性を保ち、民間活力の活用などを通じて、効率的な施設の管理と更新を行います。

2

### 危機管理体制の強化

災害時においても事業を継続して実施するため、被災地の体制強化を図ります。

3

### 経営の健全化と経営基盤の強化

安全で良質な水を24時間365日安定供給し、町民の生活基盤と公衆衛生を守り抜きます。

## 📈 2035年度 数値目標

### 目標①

#### 経常収支比率

独立採算制の実現に向けた最重要目標

**100%**  
TARGET

現状 (2023) → 目標 (2035)  
**77.99%** → **100%**

### 目標②

#### 料金回収率

供給原価に対する料金収入の割合を維持

**60%**  
TARGET

現状 (2023) → 目標 (2035)  
**60.26%** → **60%**

## 投資計画（2026～2035年度）

計画期間 投資総額

約 6億円

(10年間累計)

### 主な投資内容

- 計画策定改定 約16百万円
- メーター更新 約153百万円
- 改築更新工事 約750百万円
- 施設設備長寿命化対策 約750百万円

### 投資財源

- 国庫補助金・地方債の活用
- 工事負担金
- 自己財源

**i** 財源の最適化を図り、繰入金への依存を抑制します。

## 実行体制



## 進捗管理と見直し（PDCAサイクル）

